

## 広島駅ビル建替え工事用仮囲いを「魅せる仮囲い」として活用

2020年6月17日  
西日本旅客鉄道株式会社

JR西日本広島駅において、広島駅ビル建替工事において設置されている工事用仮囲いを、「HIROSHIMA CONNECTING WALL（ヒロシマコネクティングウォール）」と題し、「魅せる仮囲い」として活用します。本来は工事用仮囲いという無機質な壁に装飾を行い、広島の誇りや魅力とそれを生み出したDNAをストーリーにして発信していくことで、コミュニケーションの場へと変えていきます。

この壁面装飾の取り組みは、広島市とも連携し、今後約5年間工事用仮囲いの切替に合わせて様々なテーマを掲げ広島のストーリーを発掘し発信することで、国際平和文化都市“HIROSHIMA”の玄関口を彩っていきます。

### 1. 本取り組みの全体概要

#### (1) 魅せる仮囲いのメインコンセプト

## 「HIROSHIMA CONNECTING WALL」

このコンセプトは、広島駅は広島の玄関口にふさわしい新たな賑わいや交流、感動を創出する施設となることを目指し、工事期間中においても地域の皆さまと一体となり街の活気をつくりあげていくために、無機質な壁である工事用仮囲いを活用し、「まち」「ひと」「とき」をつなぐ（CONNECT）コミュニケーションの場へと変えていくという想いを込めています。

#### (2) 実施期間

2020年7月～2025年頃（工事用仮囲いの切替に伴い実施予定）

#### (3) 掲出イメージ



⇒メインコンセプトを中心に掲げ、1894年に開業してから現在に至るまで時代の変遷とともに形を変えてきた広島駅の歴史と来る2025年春開業の明るい未来を演出

## 2. 第1弾の掲出概要

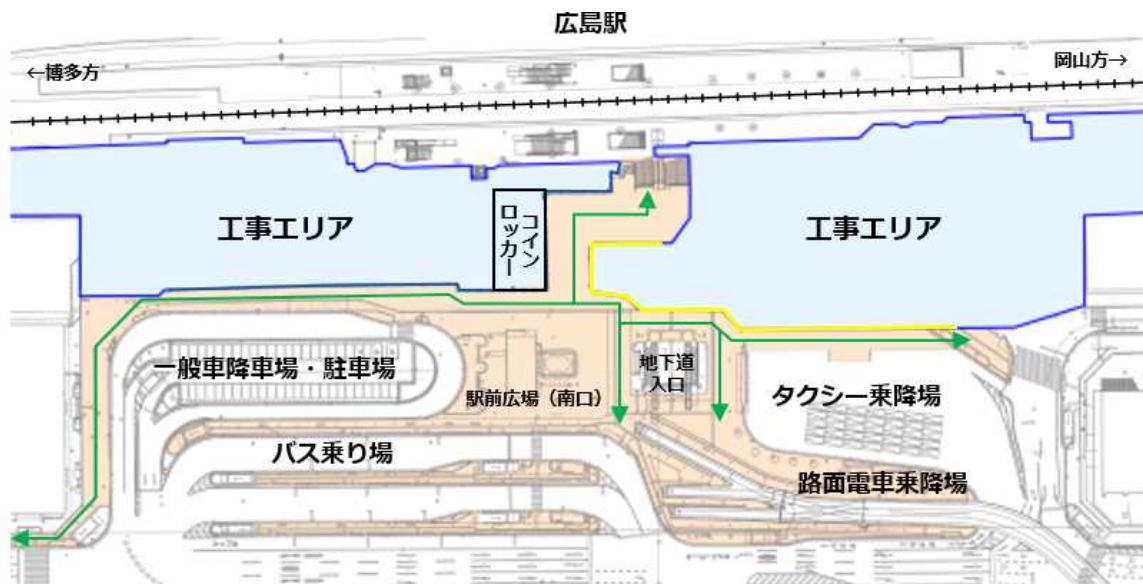
### (1) 掲出テーマ・内容

## 「HIROSHIMA PRIDE (ヒロシマプライド)」

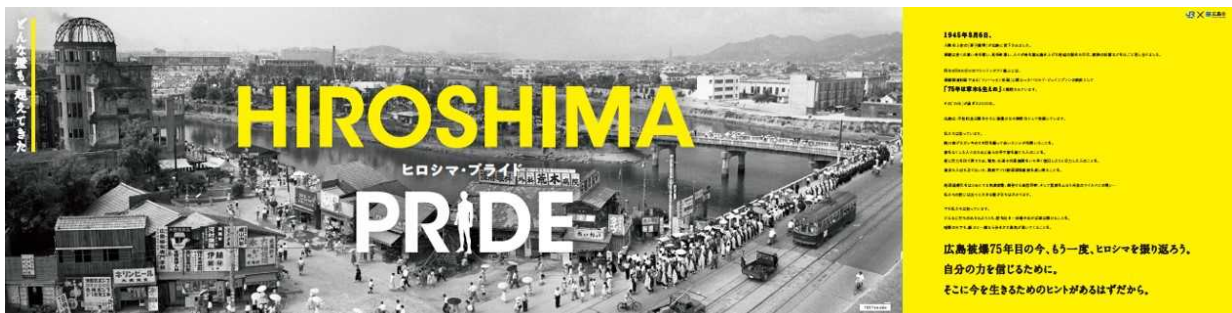
本取り組みにおける第1弾の掲出として、1945年の被ばく当時にアメリカの学者であるハロルド・ジェイコブソンの“75年は草木も生えない”という談話から75年が経過した2020年の今だからこそ、広島が現在に至るまで力強い復興を遂げてきた歴史や人々の歩みを発信することで、あらゆる逆境を乗り越えてきたからこそ今般の新型コロナウイルスの情勢の中でも前を向いて歩いていくというメッセージを形にしています。

### (2) 掲出期間、掲出位置、掲出範囲

- ・掲出期間：2020年7月10日（金）～2021年2月頃
- ・掲出位置：広島駅南口自由通路、南口広場に面した工事用仮囲い（下図黄色線位置）
- ・掲出範囲：297㎡（高さ2.7m×長さ110m）



### (3) 掲出イメージ (一例)



⇒復興した街並み（1958年）を背景に、第1弾のテーマである HIROSHIMA PRIDE（ヒロシマプライド）を表現



⇒上部にはヒロシマプライドに紐づくサブテーマとして「再生の灯」や「子供たちの笑顔」等のテーマ性を持たせた写真を中心に展開し、下部には広島復興にまつわる様々な出来事を年表形式で表現

※掲出イメージは一部抜粋、デザインは変更の可能性あり